

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター	所管課	みどり自然課
所在地	北杜市大泉町西井出石堂8240-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成6年11月28日
管理方式	指定管理者(財団法人キープ協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター設置および管理条例		
設置目的	恵み豊かな自然の中で、自然環境に関する情報と学習の機会を提供し、もって本県の良好な環境の保全と継承に資するため、八ヶ岳自然ふれあいセンターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	展示ホール(207㎡)、特別展示ホール(116㎡)、交流コーナー(28㎡)、視聴覚ホール(196㎡)、自然観察路(W=1.5m、L=1270m)、園地(2018㎡)		
主な業務内容	1. 施設及び設置器具の維持保全 2. 八ヶ岳南麓の自然に関する情報の提供 3. 自然環境に関する知識の習得のための体験学習の機会の提供		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1)北杜市オオムラサキセンター:展示室、視聴覚室等
-------------------	----------------------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	一般来館者数	96,753	93,144	100,015	
	自然体験プログラム・ 講演会参加者数	2,438	1,895	2,617	
	利用者数合計	99,191	95,039	102,632	
	目標値	100,000	100,000	99,000	99,000
	目標値設定の考え方	過去3年間の最大値に約5%の増加を見込んだ。	職員の疲労を考慮、H20年度並を想定した。	前年度の実績に対し若干の増加で計画した。	前年度の実績、及び東日本大震災の影響を踏まえて計画した。
	対20年度比	100.0%	95.8%	103.5%	99.8%
稼働率	99.0%	95.0%	95.0%	104.0%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	37,000,000	37,000,000	37,000,000	37,000,000
	その他		110,000	391,150	
	収入合計(A)	37,000,000	37,110,000	37,391,150	37,000,000
支出	人件費	20,727,000	22,450,000	21,774,160	22,450,000
	県への納付金				
	管理運営費	16,294,000	14,660,000	15,225,840	14,660,000
	(うち外部委託費)(B)	3,445,000	4,100,000	3,550,433	4,100,000
	支出合計(C)	37,021,000	37,110,000	37,000,000	37,110,000
収支差額(A-C)		-21,000	0	391,150	-110,000
外部委託比率(B÷C)		9.3%	11.0%	9.6%	11.0%
利用者一人当たりの経費		373	370	361	374

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当たりの経費の算定式は、指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年4月～23年3月 実施方法:事業参加者・貸館利用者へのアンケート 回答数:340人
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用日、利用時間				
②利用料金				
③展示内容	94.0%	0.0%	6.0%	0.0%
④設備・備品の状況	85.0%	0.0%	5.0%	10.0%
⑤催物・事業内容	95.0%	0.0%	5.0%	0.0%
⑥職員の接客態度	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
各項目の平均	93.5%	0.0%	4.0%	2.5%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

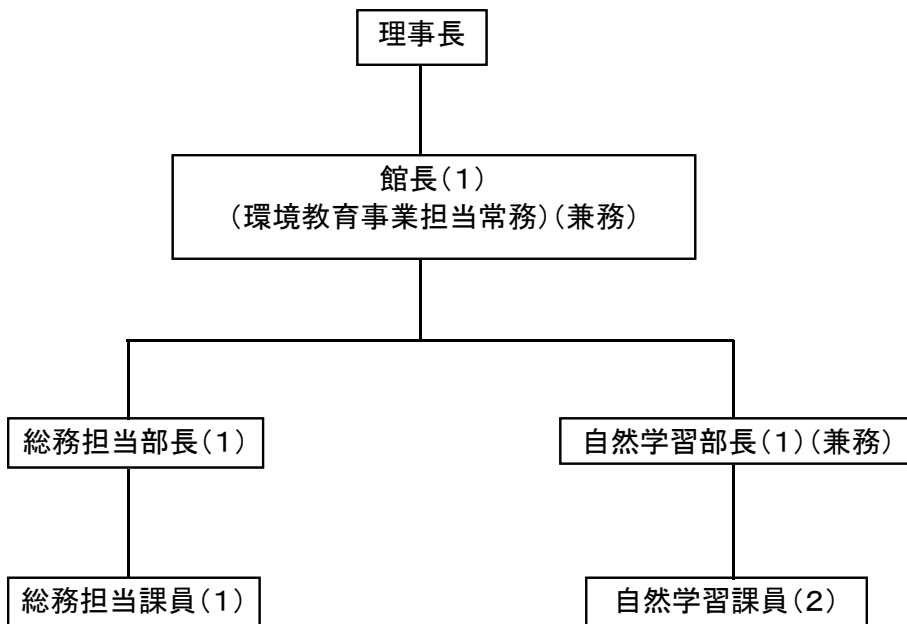
利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが臭い。 ・生き物を展示して欲しい。動物とのふれあいコーナーがあると良い。 ・自然歩道の詳しい情報が欲しい。 ・館内に座れるイスをもっと欲しい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの臭いは構造上の問題。消臭剤の香りを強めるなど工夫した。 ・旬の動植物(ムシ、花など)を短期間採取して、展示するなどして工夫した。 ・自然歩道の危険箇所などについては、随時発信するようにした。 ・展示ホール of 要所要所にイスを配置した。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	適切に業務を執行していると考えますが、館内外の施設に老朽化が進んでおり、修繕費が年々増えている。引き続き、施設所管課との協議をしながら修繕を実行したい。	必要な維持管理・保守点検は計画通り実施している。 防災設備の点検で不備が指摘された事項については、順次改修しているが、利用者の安全確保のため迅速に対応して頂きたい。
運営業務	年度業務計画書や年度事業計画に基づき、施設展示の更新や自然体験プログラムの実施をした。	運営業務については事業計画に基づき適切に実施しており特段の問題はないが、今後とも魅力あるプログラムの考案や利用者ニーズに沿った実施日程、広報等のさらなる充実を期待する。
自主事業	ヤマネをテーマにしたガイドウォーク、立ち寄り自由参加型の自然体験プログラム、野鳥を紹介した小冊子等の有料の事業を実施した。また、特別展示ホールは地域の自然愛好家による作品展に活用された。	自主事業内容については利用者から高い評価を得ている。 実施回数は前年度より増加しているが、職員の負担に配慮しつつ利用者ニーズに対応して頂きたい。
利用状況	2010年度は入館者数、自然体験プログラム・イベント等の参加者共に前年度よりも増え、施設の設置目的を十分果たしたと考える。ただし、3月の東日本大震災以降は来館者数が減っている。	実績数は前年度よりも増加しており、特段の問題はない。 今後、環境教育の拠点施設としてより多くの学校団体に利用してもらえるようプログラムの充実等を図っていただきたい。
収支状況	施設の老朽化に伴い、事務消耗品・修繕費・車両費等の支出が増加したが、他の費用を抑制することにより、収支は計画通りに推移した。	収支は概ね均衡しており特段の問題はない。 今後も施設の老朽化に伴い修繕費がかかることが予想されるため、計画的な修繕や経費の節減に努めて頂きたい。
利用者満足度	アンケート結果や来館者とのコミュニケーションを通して、プログラム、展示、接客など満足いただいていると考える。一方、施設の老朽化による不満足が増えないように注意したい。そのためにも計画的な修繕が必要と考える。	利用者からの評価は概ね高く、全体的に高い満足度が得られている。 利用者からの指摘のうち対応可能なものについては順次対応するなど、利用者の視点に立った運営がなされている。
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	総合的に、県が期待するレベルでの実績を上げており、県の求める水準の管理運営が行われていることが確認できた。今後も、利用者数の増加及び利用者満足度の向上に向け、各種プログラムや広報の充実に取り組むことを期待する。また、防災設備の改修については、利用者の安全確保のため迅速に対応すること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	利用者のニーズに効率的に対応できるよう、各種プログラムの実施日程を工夫している。	

7. 管理体制(組織図)

2010年4月1日～6月1日



2010年6月2日以降

